

第三者割当増資の引き受けに関するお知らせ

2017年5月10日

当社は、レグセル株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役社長：松田直人）が発行する総額6億2,000万円の第三者割当増資について、その一部を引き受けることで、このたび合意したことをお知らせします。

以上

<参考資料>

レグセル株式会社について

設立	平成28年1月27日
事業内容	制御性T細胞の活用による新たな医療
本社所在地	京都市上京区河原町通今出川下ル梶井町448-5
代表取締役	松田 直人（まつだ なおと）
ホームページ	http://regcell.jp/

レグセル株式会社は、世界的な免疫学研究者である、坂口志文教授（大阪大学名誉教授兼京都大学名誉教授）および河本宏教授（京都大学 ウイルス・再生医科学研究所教授）の技術をもとに、制御性T細胞^{※1}を用いた新たな細胞医療の創出、およびiPS細胞技術を利用したキラーT細胞^{※2}による、がん治療細胞医療の創出を目指すベンチャー企業であり、2016年1月の設立以来京都大学との共同研究により基礎技術の開発を進めております。今回調達した資金は、こうした免疫細胞の実用化に向けた培養法開発を加速し、数年後の臨床応用を目指しております。

※1）制御性T細胞とは、免疫応答を抑制的に制御するT細胞の一種。過剰な免疫応答を抑制するためのブレーキ機能を果たしている。1980年代後半に坂口志文教授によって発見され、以後その機能解明がなされてきたもの。自己免疫疾患（リウマチ等）への新たな治療法、移植医療や再生医療に際しての新たな免疫拒絶反応抑制の方法として、その活用が注目されている。

※2）キラーT細胞とは、通常、CTL（Cytotoxic T Lymphocyte；細胞傷害性T細胞）と呼ばれるT細胞の一種。体内の異物（ウイルス、がん細胞等）を攻撃して破壊するもの。異物と認識した細胞を殺傷するためキラー細胞とも呼ばれる。現在も患者本人のCTLを体外で増幅して再び身体に戻す自家CTL療法は行われているが、レグセルはストックされたiPS細胞を用いて利便性の高い医療として開発しようとしている。

【会社概要】	名称：香川証券株式会社	電話：087-851-8181
	所在地：〒760-8607 香川県高松市磨屋町4-8	FAX：087-822-7270
	設立：1944年（昭和19年）5月19日	資本金：5億5,500万円
	代表：代表取締役社長 中條博之	事業内容：金融商品取引業
	お問合わせ先：経営企画部 香川（TEL：087-851-8181）	

